

大山パークウェイを座標軸にした地域の魅力アッププロジェクト（鳥取県米子市・境港市・大山町・伯耆町・南部町・琴浦町・江府町・日吉津村、島根県松江市、岡山県真庭市）

国立公園大山を縦断し、海と高原の美しい景観が連なる美保関から蒜山間の道を「大山パークウェイ」と名付け、寄り道を促す仕掛けにより点在する観光スポットを周遊できる観光ルートとして再構築するとともに、滞在型観光エリアとしての定着を図る。



平成21年度の主な取組

- ① 滞在型旅行商品の開発、実証実験（モデルツアー）を行い、受入体制の仕組みづくりを実施。
- ② QRコードやステッカー等を活用した観光スポットに寄り道する仕掛けにより、観光客の周遊を促進。
- ③ エリアガイドブックの発行や、夏・秋の観光シーズンにおける集中的なキャンペーンにより情報を発信。

平成22年度以降の展開

滞在型、体験型の旅行商品の全国販売を展開するとともに、地域の自然景観保護活動、生きがい創出、人材育成など、パークウェイ沿線の街づくりを進めるコミュニティと協働し、観光スポットを繋いだ線（パークウェイ）から面的な広がりを持った展開を図ることにより地域活性化を実現する。

鳥取駅前・賑わいのまちづくり実証事業（鳥取県鳥取市）

芝生化した道路空間でのイベント等による集客効果を検証した昨年度の成果を踏まえ、今年度は、安全・安心な買い物空間の創出や街なかへのアクセス向上に取り組みつつ、地場資源を活用した賑わい創出とそのための体制整備を進める。



平成21年度の主な取組

- ① 地場資源を活かしたイベント等の実施を通じ、商店街を中心とした賑わい創出のための体制づくりを進める。
- ② 安全・安心な買い物空間・街歩きを実現するために、自転車・歩行者の動線分離や駐輪場の設置実験等を行う。
- ③ 街なかへのアクセス向上のため、駐車場からの二次交通（自転車・バス）やショッピングカート配置等を充実。

平成22年度以降の展開

地元商店街や鳥取市等を中心に関係団体が一体となって、駅前通りのセミランジットモール化に伴う管理・運営体制及び利活用ルールを確立し、主要幹線の自転車・歩行者の動線分離等の導入を図り、鳥取ならではの地場資源を活かした賑わいづくりにより、街を活性化する。

隠岐の里山・里海再生を核とした環境産業及び定住・交流促進プロジェクト (島根県隠岐の島町)

間伐材等の未利用材のバイオマス利用などによる林業振興や海産物特産品の販売促進等による水産業振興など、自然資源を活用した産業育成と、定住・交流促進を図る「緑のコンビナート」(離島内での環境・経済循環モデル)の構築を目指す。



平成21年度の主な取組

- ① 木材販売のノウハウやバイオマス事業の技術習得に係る講座、実地での作業路開設研修等、本格展開に向けた人材力強化を推進。
- ② 未利用材の伐出、木質チップの生産・島内外輸送など、バイオマス事業の生産・流通体制の確立を目指した事業化実験を推進。
- ③ 昨年度発掘した特産品の販売実証実験や漁師・漁家をテーマにした体験交流を展開。

平成22年度以降の展開

森林施業の効率化、木質バイオマス事業の確立・発電への活用、森林育成のための植樹など、林業の振興や新たな環境産業を推進するとともに、「こだわり特産品」等を介した体験交流を進め、産業振興と里山・里海の再生、定住・交流の促進により地域経済の活性化を図る。

吉備野 古(いにしえ)ツーリズムプロジェクト (岡山県総社市)

通過型観光客が多い現状を打開するため、多様な地域主体が連携し、吉備野という歴史的特性を踏まえた体験型交流プログラムの定着化や特産品の販売拠点の整備、「吉備野ブランド」の開発などにより、集客性の高い元気な地域として再生する。

交流プログラム (みちくさ小道等)



特産品の販路開拓・ブランド化



平成21年度の主な取組

- ① 昨年度開発した体験交流プログラムを持続的に行うための実施体制の確立や、積極的な情報発信等を行う。
- ② 古くから伝わる特産品を「吉備野ブランド」として認定する仕組みを検討するほか、特産品を体感できるコミュニティカフェの設置など、地域産品の付加価値向上を図る。

平成22年度以降の展開

21年度に確立した体制の自立的運営による体験交流プログラムの定着やコミュニティカフェ等特産品販売拠点の増加、「吉備野ブランド」を認定する仕組みの確立等により、多彩なものづくりや集客交流サービスを提供するコミュニティ・ビジネス等を活発化させ、持続的な地域活性化を実現する。

おかやまさんさんエネルギー増殖プロジェクト

(岡山県備前市、岡山市、瀬戸内市、赤磐市、和気町)

全国有数の日照条件を誇る「晴れの国・岡山」において、太陽光や木質ペレットなどの自然エネルギー(地産エネルギー)をブランド化するとともに、家庭や企業での利用を拡大することにより、市民が気軽に環境問題に触れる機会の創出、エネルギー地産地消型社会の実現を目指す。



グリーン電力証書

取組②
自然エネ・省エネの
需要の掘り起こしや
設備導入への支援



太陽光発電

地域における自然エネルギー利用の拡大
エネルギー地産地消型社会の実現

取組③
コンテストやセミナー
による、地域での
ネットワーク拡充



取組①
地域資源を活かした
自然エネルギーの
ブランディング

平成21年度の主な取組

- ① 地域資源を活かした自然エネルギーの社会的受容を高めるため、「おかやまさんさんエネルギー」のブランディングとともに、ポータルサイトやカフェといった情報発信の「場」を創出。
- ② 一般家庭・企業における自然エネ・省エネの普及促進を図るため、グリーン電力証書の提供や設備導入に係る技術支援・コンサルティングなど、需要の掘り起こしや支援を実施。
- ③ CO₂削減コンテストやセミナーにより、地域での自然エネルギー利用のネットワークを拡充。

平成22年度以降の展開

岡山の自然エネルギーのブランド化や設備導入に対する支援などにより、新たな自然エネルギー産業を創出するとともに、地域での自然エネルギー導入を推進する。

中山間地ならではの地域資源を活用し北広島町に元気な世代(アクティブシニア)が集まる集客交流サービス事業の創出(広島県北広島町)

地域のリーダーとしてコミュニティビジネスを推進していく人材の育成により、神楽や里山といった北広島町の地域資源による「集客・交流」ビジネスを創造するとともに、地産地消を具現化する「北広島型エリアフードシステム」を構築する。

東アジアからの交流拡大

特産品の展開・人材力強化



スキー体験誘致のプレゼン(台北)



特産品の例(ゆず製品)
出荷者セミナーの開催



神楽交流



平成21年度の主な取組

- ① 東アジアからのスキー体験、神楽交流の誘致を積極的に進めるとともに、広島を訪れる観光客を対象にした神楽殿ツアー等を実施し、旅行エージェント機能を確立する。
- ② 企画・プロデュース能力を持つスタッフの育成等による人材力の強化。
- ③ 北広島町産食材のブランド化や特産品の流通ルートの確立による出荷者の意識改革。

平成22年度以降の展開

神楽やスキー体験、ウィークエンドファーム、セラピービレッジなどの集客・交流ビジネスを地域事業として定着させるとともに、道の駅「舞ロード」や出前朝市等における特産品・地産食品販売による集客を図り、高齢化が進む地域コミュニティの自立的な再生を実現する。

庄原市民、NPO、行政との協働による、「さとやま(里山)文化」を活かした元気再生事業
(広島県庄原市)

豊かな自然のもと地域が互いに助け合う中山間地の伝統文化を資源として捉え直し、地域主体が連携してコミュニティの活性化に取り組むとともに都市部との交流を促進することにより、中山間地域の伝統・文化を活かした持続性ある里山の再生を実現する。



交流イベントの展開(自然体験塾)



庄原の里山風景



交流イベントの展開(帝釈もみじ祭り)



里山暮らし体験の舞台となる空き民家

平成21年度の主な取組

- ① コミュニティの基礎単位である自治振興区が主体となって交流イベント開催、地元資源発掘、商品化等を実施。
- ② 里山の魅力を活かした環境体験やファームステイ等の目的ツアーを展開し、都市部との交流を推進。
- ③ 交流人口・定住の促進のため、集落内での「里山暮らし」お試し体験を実施。

平成22年度以降の展開

庄原市さとやま博(平成22年度)を契機に、里山の積極的なPR、地元資源を活用したコミュニティビジネス化を推進するとともに、定住の促進を図り、これらの総合的な地元受入体制整備のため、「庄原市観光振興公社」(仮称)を設立する。

「感性価値クリエイター」を核とした新商品創出プロジェクトと次世代クリエイター育成プロジェクトとの融合化による、「広島発」官民一体型の戦略的地域モデル事業 (広島県広島市)

クリエイター志望の若者がプロに混じって商品開発の現場に参加することで「人材育成」を図るとともに、地元中小企業の企画力を補う「商品開発」を複合的に進める仕組みを確立し、広島から全国へと発信する「ビジネスコミュニティ」を形成する。



平成21年度の主な取組

- ① 地場企業とクリエイターとの連携による「成功報酬型」商品開発・販路開拓の仕組み構築、ルール化の推進。
- ② 弟子入り希望者を随時公募し、受入決定後は、受入先企業との積極的な情報交換により「プロを育て上げる仕組み」を構築。
- ③ ①②の取組みによる成果品の展示、制作実演、クリエイター・起業支援者間の情報交換等を行う公開の場を設け、全国に情報を発信。

平成22年度以降の展開

店舗経営を目指す起業支援となる1坪ショップやクリエイターズショップ、モノづくりプロジェクトで開発した商品の販売店を開設する等「モノづくり」と「人育て」を柱とする「創発的集積地」を確立し、民間主導で事業活動を誘発して活力ある広島経済を創造する。

相互物流と交流による都市と中山間地域の元気づくりプロジェクト（山口県岩国市）

中山間地域の農産物を市内で消費する市産市消のコンパクトマーケットの自立化に向けた取組を進めるとともに、中山間集落を都市部が応援する仕組みの構築により、多様な主体が参画して周辺部と都市部が相互に支え合い、地域の活性化を図る。



平成21年度の主な取組

- ① 中山間地域の農産物を集荷・配送する物流システムの拡大と、それらを販売するアンテナショップの運営実験による、コンパクトマーケットの自立化に向けた取組を展開。
- ② 中山間集落に対する、都市部から生活用品等を輸送する物流システムの試行や、生産者と消費者が集う交流会等を通じて、持続可能な集落応援システムの構築実験を実施。

平成22年度以降の展開

市産市消コンパクトマーケットとそれを支える相互物流システムや集落応援システムの定着により、安定的かつ持続的な仕組みとして自立化させていくとともに、都市・農山村交流等の取組を推進し、周辺部と都市部が相互に支えあう一体的な地域社会の実現を目指す。